

「関わり方」の知恵を探る

話しあいの技術(テクニック)から、世界をつくりかえる技術(アート)へ。会議の進め方にとどまらず、あらゆる「関わり」におけるファシリテーションの知恵を探ります。毎回とも参加者の興味・関心に応じてテーマを設定し、いま・ここでの学びを紡ぎ出していきます。会議などの話しあいをよりよくしたいとお考えのみなさん、人と人、組織、社会、自然とが響きあう状態を醸し出したいとお考えのみなさん。ご都合のよい日時をお選びいただき、お気軽にお越しください。

日 程 5月11日・25日、6月1日・15日、7月6日・20日
いずれも火曜日、13:00～17:00

各回とも、1時間程度のミニ講義「ファシリテーションとは何か？」の後、参加者の興味・関心に応じてテーマを設定し、ワークショップを展開します。

会 場 つくば市民大学(つくば市東新井 15-2 ろうきんつくばビル 5階)
TX「つくば駅」より徒歩約10分、バスターミナル「つくばセンター」より徒歩約8分
駐車場はありません。公共交通機関が近隣の有料駐車場をご利用ください。
詳しいアクセスは、つくば市民大学 web サイト(<http://tsukuba-cu.net>)参照。

講 師 徳田 太郎 (ユニベルシタスつくば 代表幹事)



1972年、茨城県生まれ。2003年にファシリテーターとして独立、全国の地方自治体、NPO、病院や民間企業などを対象に、年間120日以上ワークショップやセミナーを実施している。NPO 法人日本ファシリテーション協会理事・事務局長、NPO 法人茨城 NPO センター・コモンズ理事、東邦大学理学部非常勤講師(コミュニケーション)、アール医療福祉専門学校非常勤講師(臨床人間関係学)などを務めるほか、中小企業診断士、森林インストラクターの顔も持つ。著書に『NPOの会議、こうすればうまくいく』『かかわりのファシリテーション』。

ファシリテーションとは？

ファシリテーション (facilitation) を直訳すると「支援」「促進」となります。

もっとも分かりやすいのが、話しあい(対話や討議)のファシリテーションでしょう。メンバー相互の思いや考えが響きあうよう働きかけることで、当該メンバーの総和以上の「何か」が生み出されたり、個人や集団の思考や行動、関係性の変化が醸し出されたりすれば、その働きかけはまさに「ファシリテーション」です。

本講座では、このような話しあいのファシリテーションだけでなく、人が自己・他者・組織・社会・環境...と関わっていく、その「関わり」を支援・促進するようなすべての働きかけをファシリテーションであると捉え、その知恵を探ります。

受講料 2,000円(大学生以下1,000円)/回

本講座は、つくば市民大学の主催講座です。受講には学生証が必要となります。年会費は個人500円・団体1,000円です(受講当日のお申し込みも可)。詳しくは、つくば市民大学 web サイト(<http://tsukuba-cu.net>)をご覧ください。

参加申込書

ご記入の上ファクシミリ(029-828-8892)、または同内容のメールを info@tsukuba-cu.net まで。受講料等は、講座当日、受付にて承ります。

参加希望日： ____月__日(火) 13:00～17:00

お名前：

ご住所：〒

お電話：

ファクシミリ：

電子メール：